

令和3年度 田無すくすく保育園 事業報告書

1 令和3年度の概要

令和2年度で前園長が退職。前主任、副主任がそれぞれ園長、主任に就き、新体制でのスタートとなる。予ねてからの体制移行だったため、スムーズに移行することができ園として大きな動揺はなかった。昨年度に引き続き、コロナ禍での保育となったが、最大限の感染症対策を行い、日常の保育や行事について充実できるよう工夫した。

第三者評価を受け結果を踏まえて、子どもたち一人一人を大切に、保護者に寄り添った園としてより充実していけるよう職員で話し合いを重ね、保育内容や行事について見直しをする契機となった。

姉妹園との連携を強め、保育見学をお互いにすることで学び合える環境を整えることができた。

基準より多くの職員を配置しているため、ゆとりある保育を行うことができ、事務時間の確保もできているので働きやすい職場環境の継続が出来ている。

2 振り返り

(1) 保育目標の実践

- ・保育士ひとりひとりが保育目標を定め、達成に向け継続して努力することができた。
- ・長引くコロナ禍の中、日常の感染対策を引き続き徹底して行った。
行事、園外活動の形態の変更を行ないながら豊かな経験ができる機会を取り入れた。
- ・子どもが主体的に経験を積めるように保育を見直し、お店屋さんごっこ等新たな行事も取り入れた。
- ・姉妹園との保育見学を行うことで自己の保育を振り返り、よりよい保育を目指す良い機会となった。

(2) 保護者支援

- ・事業計画に従い支援を行った。行事ごとにアンケートを取り、また運営委員会、第三者評価を受けて保護者の意見を率直に受け止め真摯に対応することができた。
- ・困難をかかえる家庭には積極的に関わりを持ち、個別での面談の機会を多く作りすることで保護者と思いや園での様子を共有することができた。必要と思われる関係機関と連携を取ってケースに合わせたきめ細かい支援を継続することができた。
- ・前年度はコロナ禍の為に行えなかった懇談会や、他の保護者と関わる機会を作れる行事を行い、保護者のニーズに応えることができた。

(3) 地域の子育て支援

- ・在園児の感染予防を最優先としたため外部との接触を極力避け特別な子育て支援は行なわなかった。

(4) 職員構成

各クラスには経験・年齢を考慮したバランスの良い保育士を配置し、リーダー層が安定したクラス運営を行い、産休・育休の職員がいる中でもしっかりとした職員体制を作ることが出来た。

3 児童利用状況

月極利用児童受託状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	15人	15人	20人	20人	21人	97人
4月利用者	6人	15人	15人	20人	20人	21人	97人
10月利用者	6人	15人	15人	20人	20人	21人	97人

保育園開園時間

標準時間基本保育時間	7:00~18:00
標準時間延長保育時間	18:00~20:00
短時間基本保育時間	8:30~16:30
短時間延長保育時間	上記以外を超えた時間

5 【職員構成】

常勤職員 18名				パート職員 19名			
施設長	1名						
保育士	14名	看護師	1名	保育士	10名	事務員	1名
栄養士	1名			保育補助	2名		
調理師	1名			調理員	5名		
				嘱託医	1名		

6 運営報告

〈1〉会議内容

①施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	28日	28日	24日	29日	26日	30日	28日	25日	17日	21日	3月4日	25日
リーダー一会議	14日	13日	10日	14日		6日	6日		8日			14日
幼児				3日		13日			17日		9日	
乳児						28日	25日		22日			17日
給食	27日	25日	25日	27日	25日	28日	26日	24日	20日	26日	22日	29日
運営委員							8日				書面開催	

②施設外会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園長	15日	19日	17日	21日	書面	2日	27日	11日	9日	書面	書面	書面
看護師								11日				
栄養士										12日		

- ・カンファレンス 4月19日
- ・実務者会議 7月6日
- ・ブロック会議 12月21日

※看護師会、栄養士会 前期コロナで中止

〈2〉係内容

衛生管理者	日々の点検を中心にマニュアルに基づき園内の衛生に努めた
食品衛生管理者	マニュアルに従いアレルギー対応や衛生の徹底に努めた
防火管理者	消防設備点検報告書を消防車へ届けた・BCPの作成
研修委員	園内研修の企画立案を行った（別紙参照）
親睦会	職員のコミュニケーションを深める会

7 保育計画

〈1〉子どもの保育目標

新型コロナウイルス感染というイレギュラーなできごとはあったが、そのような状況でも「こころもげんきな子ども」を保育目標として、心身ともに健やかに成長出来るよう、年齢ごとの指導計画に従って保育を行った

〈2〉年間行事報告

昨年度よりコロナ禍の中でも子どもたちや保護者が楽しめる行事の見直しをし、感染状況を考慮し対策を行った上でできる限りの行事を行うことができた。

・昨年度中止したが今年度行った行事、新たに行った行事

入園式・懇談会・夕涼み会・保護者参加参観・バス遠足・お店屋さんごっこ

・引き続き縮小した行事

運動会 年中・年長児のみ園庭で参加人数を制限して行う

発表会 2歳児からクラスごと参加人数を制限して行う

卒園式 保護者2名まででホールにて行う
 おとまり会 デイキャンプに変更
 クリスマス会は外部から「MAMACANON」を呼んでコンサートを開催
 子どもだけが参加する行事については年齢に合わせてクラスごとに行った
 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、また対策を講じながら出来る限りの行事を行った

〈3〉食育実施報告

(1) 野菜の栽培・収穫・試食

園全体で野菜を植えて観察し、各クラスで試食する機会を持った。

春と秋に近隣農家に芋ほりに行き、4・5歳児クラスは事前に成長を観察した上での収穫体験をすることができた。来年度はさらに冬の収穫体験としてみかん狩りを計画している。

(2) 調理保育

昨年度は感染予防のため調理保育をひかえていたが、今年度は年長クラスが野菜の皮むきやカットを定期的に行い、デイキャンプではカレー作りを行った。また、月見団子づくり等、季節の行事を感じられる調理保育を行う。後半では4歳児クラスも玉ねぎの皮むきや大根の皮むき等の調理保育を体験することができた。

(3) きりんぐみから食事や食べ物についての食育指導を定期的に行う。また今年度より月の献立に日本の郷土料理を取り入れ、栄養士から郷土料理説明等も行って食への興味を深めることができた。来年度もさらに回数や内容を見直して充実させていきたい。

- ・3歳児クラス：野菜の苗植え、食事のマナーについて
- ・4歳児クラス：野菜の苗植え、箸の使い方について、郷土料理について、野菜について、玉ねぎの皮剥き、大根の皮むき
- ・5歳児クラス：野菜の苗植え、人参の皮むき、郷土料理について、冬瓜の皮むき、茄子のカット、月見団子づくり、大根のカット、カレー作り、旬について、白菜のカット

〈4〉保健実施報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	22日	13日	17日	8日	4日	9日	12日	25日	13日	13日	3/14	28日
内科	幼児22日	乳児27日				幼児14日	乳児15日					
歯科		26日						30日				
眼科			30日									
歯科衛生												
職員検便	13日	18日	8日	13日	10日	7日	12日	16日	7日	18日	8日	8日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アクシ デント	8件	7件	12件	5件	5件	5件	6件	7件	8件	8件	3軒	5件
受診 件数	6件	7件	3件	3件	3件	1件	6件	6件	2件	0件	0件	0件

- ・トイレの使い方等の保健指導を取り入れた。

※受診件数が昨年よりも増えた。首から上の場合、特に異常が見られなかった場合も念のためとして受診していた結果である。

友だち同士や保育室に額等をぶつけての園医への受診が一番多い。

次いで、他児の手や玩具が目に入ってしまったの眼科受診、転倒した際に歯ぐきから出血しての歯科受診、また、今年度は肘内障がいでの受診が多かった。

保育環境を見直し、インシデントを意識的に出していく事で小さな怪我を減らして安全な保育を目指す。

〈5〉各種点検報告

危機管理	各担当が安全点検・事故防止・SIDSチェックを行った
衛生管理	各担当が衛生管理・個人衛生管理・検便細菌検査チェックを行った
健康管理	保健関係・身体測定・健康診断実施済み
運営委管理	自己評価済み

〈6〉環境整備

各種マニュアルに従い環境整備に努めた。

8 危機管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難訓練	28日	31日	30日	30日	9月1日	29日	29日	12日	2日	31日	28日	30日
光化学スモック	学校情報をもとに行動し、玄関先にパウチを出すことで保護者に周知した											
危機管理	安全点検チェック								毎月 事務が担当			
	SIDS チェック								毎月 各クラス担当			
	事故防止チェック								毎日 各クラス担当			
健康管理	保健関係確認(既往歴・保険証)								年2回 看護師			
	身体測定								毎月 各クラス			
	児童各種健康診断								上記参照			

〈防犯〉職員会議にて毎月、危険個所、さすまた、学校 110 番システムの確認を行う

9 ボランティア・実習生の受け入れ

〈ボランティア〉 新型コロナウイルス感染拡大予防のため受け入れ中止

〈職場体験〉 新型コロナウイルス感染拡大予防のため辞退

〈実習生〉 2月14日～2月26日 東京保育専門学校より1名

感染状況を見て、再開していきたい。

10 職員育成と研修報告

〈研修内容〉

- ① 園内研修
- | | | |
|-------|--------------------------------------|----------|
| 4/19 | エピペンの使い方、緊急時の対応について | 講師：塚本看護師 |
| 5/28 | 年長児クラスの絵本の活用の実践事例 「わたしのせいじゃない」読み聞かせ | |
| 6/24 | 事故防止対策の読み合わせ | |
| 7/29 | 西東京市保育の質ガイドライン読み合わせ（前半） | |
| 8/26 | 西東京市保育の質ガイドライン読み合わせ（後半） | |
| 9/30 | 「子どもの表現を引き出す遊び」 オンライン研修 | |
| 10/28 | 第三者評価を受けての保育の見直し、話し合い | |
| 11/18 | 「保護者を支援するということは何を支援することなのか」講師：汐見稔幸先生 | |
| 12/13 | 劇団四季「ライオンキング」鑑賞 | |
| 1月 | 「あの日のオルガン」を観て | |
| 2/25 | 姉妹園見学の感想 | |
| 3/31 | アクシデント集計と各クラスからの多かった怪我やその後の対応について | |

- ②外部研修 正規職員が合計40件の外部研修に参加した
前年度より実施される研修が増え、平均して各保育士が研修に参加することができた。オンラインの研修にも対応して受講している。

11 地域交流報告

新型コロナウイルス感染拡大予防のため積極的な交流を行うことはできなかった。

ハロウィンには近隣を回り挨拶に行く。園の訪問を楽しみにしていて、お返しを用意して待っていてくれる家庭もあった。

来年度以降、新型コロナウイルスの状況に合わせて地域との交流を増やし、地域に根ざした保育園と成れるよう計画していきたい。

12 小学校との連携

新型コロナウイルス感染症により今年度は学校訪問等が出来なかった。来年度以降の課題としている。年長児が各小学校にスムーズに移行できるよう児童要録・就学支援シートを各小学校へ提出した。

1 3 要支援児童への対応

- ・定期的にひいらぎの巡回指導を依頼し、気になる子どもへの対応について継続した支援を行うことができた。
- ・職員会議時にケース会議を開き情報共有を行った。
- ・児童相談所、家庭支援センターと緊密に情報共有をしながら要保護児童の対応を行った。

1 4 来年度に向けて

- ・第三者評価での保護者の意見を真摯に受け止め、保育士一人ひとりが園を作っていくという意識のもと、会議等で話し合いを重ね職員の意識を高めていく。
- ・新型コロナウイルスの状況を的確に把握し、感染症対策を行いながら出来る限り子どもたちが豊かに生活できる保育への取り組みを考えていく。
- ・地域との関わりや小学校との連携を強め、地域の中での保育園としての働きを充実させていく。
- ・姉妹園との連携をより強め、職員同士の交流も図ってより働きやすい職場を目指す。